

## アカヒゲホソミドリカスミカメ

成虫は年4～5回程度出現し、イネ科雑草の主に葉鞘内で卵越冬する。越冬世代成虫が5月中旬頃から、第一世代成虫が6月下旬、第二世代成虫が7月下旬、第三世代成虫が8月下旬～9月上旬、第四世代が発生する場合は9月中旬以降にそれぞれ出現する。イタリアンライグラスやイネ科雑草の穂を吸汁するが、イネが出穂すると水田にも飛来して吸汁加害する。

成虫は体長6mm内外、体型は細長く淡緑色を帯びている。

防除は、周辺のイネ科雑草の管理と本田内での薬剤防除が主体となる。詳細は（「斑点米カメムシの防除対策について」）参照。



写真 アカヒゲホソミドリカスミカメ成虫